

2024年2月28日

報道関係各位

「アジア健康長寿イノベーション賞 2024」公募のお知らせ

高齢化が進むアジアの課題解決につながる好事例を募集

アジアにおける健康長寿の達成や高齢者ケアの向上に資する取り組みを表彰する国際賞が、2024年の公募を開始します。日本からも意欲的な事業を募集します。

=====

日本国際交流センター（理事長・狩野功、以下 JCIE）ならびに東アジア・アセアン経済研究センター（事務総長・渡辺哲也、以下 ERIA）は「アジア健康長寿イノベーション賞 2024」の公募を開始いたします。

本賞は、ERIA と JCIE が 2020 年に創設した国際賞であり、昨年 12 月に開催された日 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議において、持続可能な経済成長を伴う健康長寿社会を実現させるための具体的事例として、共同ビジョンステートの実施計画に取り上げられました。

今回は 4 回目の開催にあたり、引き続き日本政府が推進するアジア健康構想（AHWIN）の一環として、アジアにおける健康長寿の達成や高齢者ケアの向上をめざして、14 か国・地域から、高齢化による様々な課題の解決となる革新的なプログラムやサービス、製品の開発、政策などの取組を募集します。

日本国内においても、自治体や市民団体、企業、教育・研究機関など様々な団体による取り組みを募集します。また、日本の団体が対象国で支援・協力している海外事例についても併せて募集しています。大賞受賞者にはトロフィーと賞状が授与され、また、海外受賞者とともに日本の高齢者支援の政策・制度、実践を学ぶことを目的としたスタディツアーにご招待いたします。

他のアジアの国々にもぜひ紹介したくなるような好事例、アジアとの連携を模索する意欲的な事業のご応募をお待ちします。

アジア健康長寿イノベーション賞 2024 概要

◆応募期間

2024年2月28日(水)～5月31日(金)

◆対象とする取り組み

アジア諸国に知見やノウハウを共有する意思のある組織（企業、民間団体、自治体など）による高齢化による様々な課題のソリューションとなる革新的な取り組み（プログラム、サービス、製品、政策）

◆対象分野

- (1) テクノロジー&イノベーション：高齢者ケアの質と効率を高める技術・発想の応用事例
- (2) コミュニティ：地域全体で高齢者の健康を支える事例
- (3) 自立支援：個々の高齢者の心身機能の維持・向上により、自立を促す事例

◆募集対象国・地域

アセアン加盟 10 か国、日本、中国（香港・マカオ・台湾含）、韓国

◆応募方法

以下の応募ページより募集要項をご確認の上、以下の Email アドレス宛に応募書類をお送りください。

応募ページ：<https://www.ahwin.org/award/award-japan/>

応募書類提出先：hapi@jcie.org

提出期限：2024 年 5 月 31 日（金）17:00

日本の団体で、他のアジア地域を拠点とする取り組みの応募をご希望の方は以下をご参照ください。海外事例応募ページ <https://www.ahwin.org/award/>（英語）

取材の受付・お問合せ

（公財）日本国際交流センター 「アジア健康長寿イノベーション賞」

運営事務局 担当：阿部、ファラ

電話番号：03-6277-8682 Eメール：hapi@jcie.org



公益財団法人 日本国際交流センターについて

日本国際交流センター（JCIE）は、民間レベルでの国際的な政策対話と協力を推進する公益法人。国際社会の安定と発展は、政府による外交のみならず、様々な民間アクターの参画によって強化されるべき公共財であるという信念のもと、地球的視点に立ち国内外の諸課題解決に貢献する。東京と米国ワシントン・ニューヨークを拠点に、人間の安全保障の視座のもと、外交・安全保障、民主主義の擁護、グローバルヘルス（国際保健）、グローバルな人の移動、女性のエンパワメントなど、多角的なテーマで国際交流や政策対話・政策提言活動を行う。

[ウェブサイト](#) | [X \(旧 Twitter\)](#) | [アジアの高齢化関係情報ウェブサイト \(英文\)](#)

アジア健康長寿イノベーション賞について

「アジア健康長寿イノベーション賞 (Healthy Aging Prize for Asian Innovation)」は、高齢化が進むアジア各国から高齢者の健康長寿に向けた革新的な取り組み事例を募集し、表彰する国際賞です。テクノロジー&イノベーション、コミュニティ、自立支援の3分野で、高齢化による様々な課題の解決となる革新的なプログラム、サービス、製品、政策を募集・表彰することにより、アジア地域内で優れた知見を共有、その実際の応用を後押し、この地域の共通課題である急速な高齢化に共に対応していくことを目的としています。

日本はアジアにおいて一早く長寿化を達成し、現在では世界で最も高齢化が進んだ国となりました。一方、他のアジアの国々でも長寿化がこれまでにない速さで進んでいます。誰もが健康で活動的な高齢期を過ごすことができる「健康長寿社会」の実現は、もはやアジア各国共通の課題となっています。国連においても、SDGs (持続可能な開発目標) のゴールに向けた最後の10年間を「健康な高齢化の10年 (UN Decade of Healthy Ageing 2021-2030)」として、高齢者を含めた全ての世代の健康と福祉の確保に向け国際社会が協力して取り組むことが決議されています。

本賞は、こうした状況を背景として、東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) および公益財団法人 日本国際交流センター (JCIE) が、日本政府によるアジア健康構想の一環として2020年に創設しました。

尚、本賞は2023年12月に開催された日ASEAN友好協力50周年特別首脳会議において採択された[共同ビジョン・ステートメント実施計画](#)に、持続可能な経済成長を伴う健康長寿社会を実現させるための協力強化の方策の一つとして明記されました。